

事務事業名		臨時職員管理事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	行政経営部	担当課	人事課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	人事係	担当課長名	松本 仁	
	施策	3 分権時代を担う職員の育成と人事管理					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 適正な人事管理の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	312	一般	2	1	1	臨時職員管理事務					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和27年度～ 年度			根拠法令等	地方公務員法、佐野市臨時職員の任用等に関する要綱				
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		その他内部事務事業		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
公務遂行上必要な臨時的事務に従事する臨時職員、臨時嘱託員の任用に関する事務を行う。 具体的には ・臨時職員の登録台帳の管理 ・社会保険、労働保険の加入脱退事務 ・年末調整事務 ・住民税の特別徴収に係る事務	臨時職員等の登録台帳の管理、社会保険・労働保険の加入脱退の事務、臨時職員等の年末調整事務、臨時職員等の一部について住民税特別徴収を導入(年末調整した佐野市に住所のある方)						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	臨時職員、嘱託員の雇用者数	人	686	684	687	690	690
	臨時職員、嘱託員登録者数	人	182	182	180	180	180
	正規職員数	人	934	1,068	1,054	1,059	1,059

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市の臨時職員、臨時嘱託員	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	臨時職員、嘱託員の雇用者数	人	686	684	687	690	690
	臨時職員、嘱託員登録者数	人	182	182	180	180	180

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・職員の育児休業の期間、その他臨時的な事業に従事する臨時職員等の登録及び登録台帳の管理を行い、それらの需要に対応できるようにする。 ・臨時職員等の社会保険や労働保険の加入手続きを行い、臨時職員等の福利厚生を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	臨時職員等数/職員数(正規職員+臨時等職員)	%	42.3	39.0	39.5	39.4	39.4

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

適正な人事管理により、職員の能力が最大限発揮されている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	定員適正化計画の進捗率	%	102.2	101.5	100.0	100.0	100.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	20	20	20	20	20	
	事業費計(A)	千円	20	20	20	20	20	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	20	負担金	20	負担金	20
	人件費	人	2	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	1,230	900	900	900	900		
人件費計(B)	千円	4,786	3,547	3,547	3,547	3,547		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,806	3,567	3,567	3,567	3,567		

事務事業名	臨時職員管理事務	担当部	行政経営部	担当課	人事課	担当係	人事係
-------	----------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和27年12月から、地方公務員法の規定に基づき開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	職員定数の削減などにより、臨時職員等の需要は増大している。臨時職員等の賃金水準が低いため、ワーキングプアを生んでいるとの指摘もある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成20年9月の決算審査特別委員会、12月の一般質問において、臨時職員と正規職員の賃金格差について質問があり、他市の状況により検討する旨答弁した。臨時嘱託員のうち、公民館長など市職員の再雇用について、改善すべき旨の一般質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	結んでいる	臨時的な事業に従事する臨時職員、嘱託員の需要に対し、迅速かつ効果的に必要な臨時職員を探ることができ、行政の効果的運営に繋がっている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	市が行わなければならない	臨時職員等の任用事務であり、雇用主として市が直接実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	妥当である	この事業は、臨時職員等を対象として、その管理を行うものであり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	成果向上余地がない	パソコンを十分活用し、各課保険料や給与等の計算、年末調整事務を処理するなど事務効率化を図っているため、成果は十分出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業はない	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	削減の余地はない	事業費は栃木県社会保険協会負担金のみであり、削減余地はない。また、人件費についても担当者がパソコンを十分活用し、各種保険料や給与等の計算、年末調整事務を処理するなど事務効率化を図っているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	受益者負担を求める必要がない	この事務事業は、臨時職員等の任用管理事務であり、臨時職員が必要となる部署が、効果的に臨時職員等を任用することにより、行政の効率的運営に繋がるものであり、結果的には受益者は不特定多数の市民であることから、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	臨時職員等を任用する必要がなくなれば本事業は終了するが、職員の育児休業や病気休暇に伴い臨時職員等が必要となることから、本事業の休止・終了はないと思われる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			